

年明け出荷用

「広島果研13号」を育成

－「安芸タンゴール」と「サザンレッド」の交配－



🌸 特性はつぎのとおりです。

- 12月上旬に完全着色となり、成熟期は1月下旬から2月上旬です。
- 果実糖度は12.9～14.5で「天草」および「宮内伊予柑」より高く、クエン酸含量は1.17～1.27%で食味は良好です。
- 果皮は濃橙色で、薄く剥きやすいです。果汁は多く、じょうのう膜が薄いので、とてもジューシーで食べやすいです。

系統・品種	調査日 (年.月.日)	果実重 (g)	横径 (mm)	糖度 (Brix)	クエン酸 含量(%)
広島果研13号	H13年	212	83.2	12.9	1.17
	H14年	121	68.8	14.1	1.27
	H15年	121	65.4	14.5	1.18
宮内伊予柑 (対照)	H14年	267	91.1	13.3	1.35
	H15年	226	88.5	12.9	1.46
天草 (対照)	H13年	238	80.9	12.9	1.16
	H14年	115	62.0	14.0	1.34
	H15年	186	74.0	13.8	1.09

注)調査日:H13年1月17日,H14年1月21日,H15年2月4日